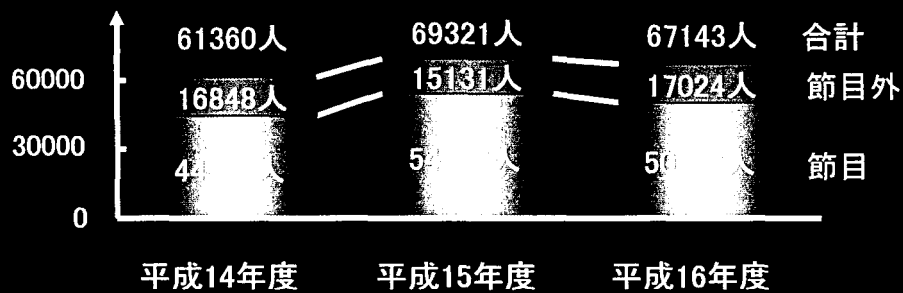


## 大阪におけるC型肝炎ウイルス検診の現況と課題

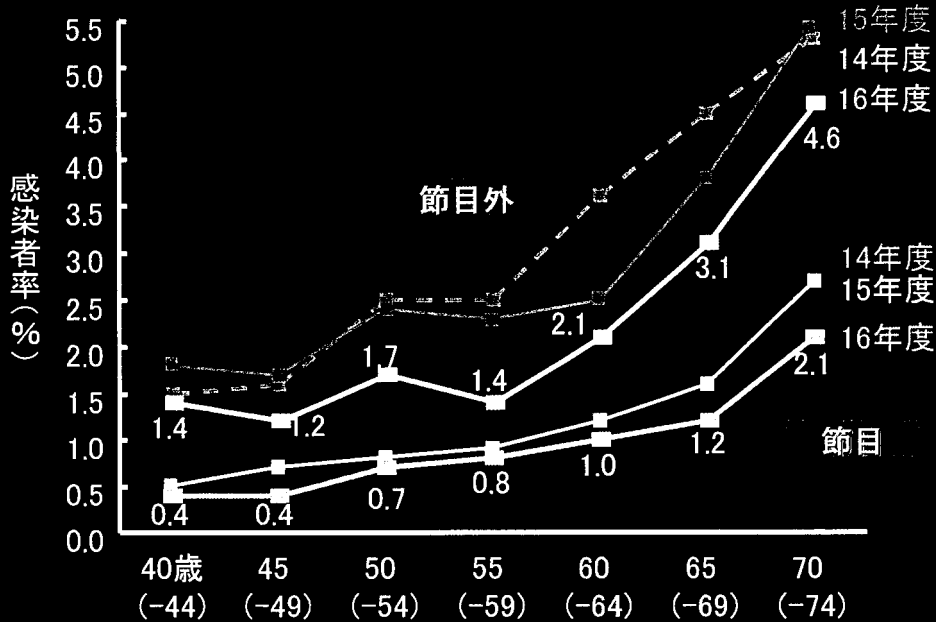
1. 大阪府肝炎検診集計表（厚労省提出用データ平成14-16年度）
2. 大阪府肝炎フォローアップ事業対象者データ（大阪府健康づくり感染症課）
3. 大阪府池田市、箕面市、豊野町肝炎検診集計表（平成14-16年度）
4. 市立池田病院肝炎検診由来患者無記名データ

C型肝炎検診受診者数：大阪市を除く大阪府

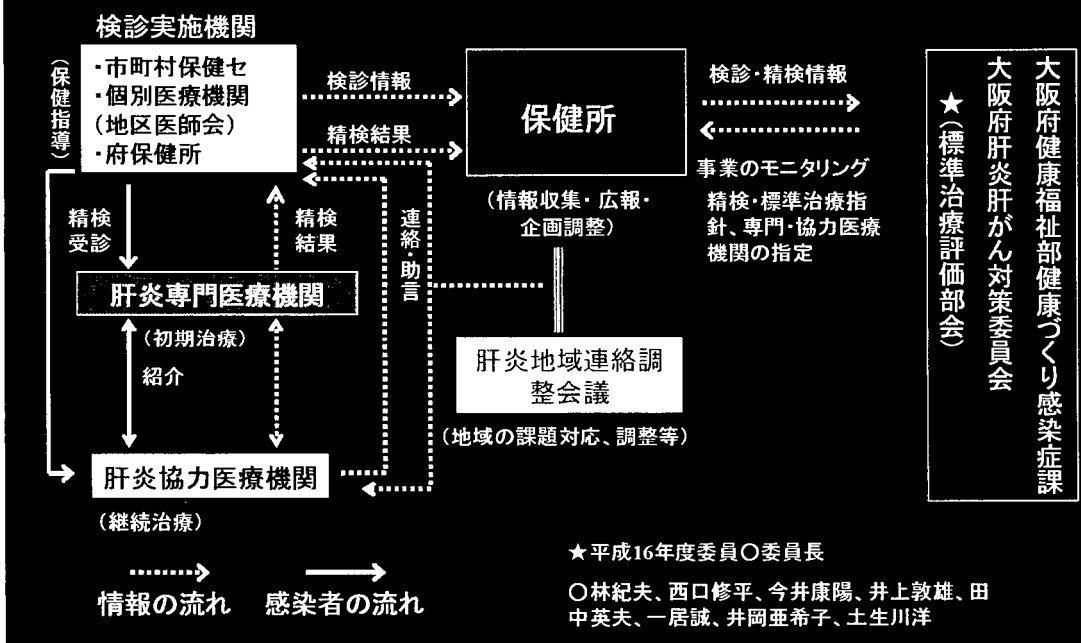


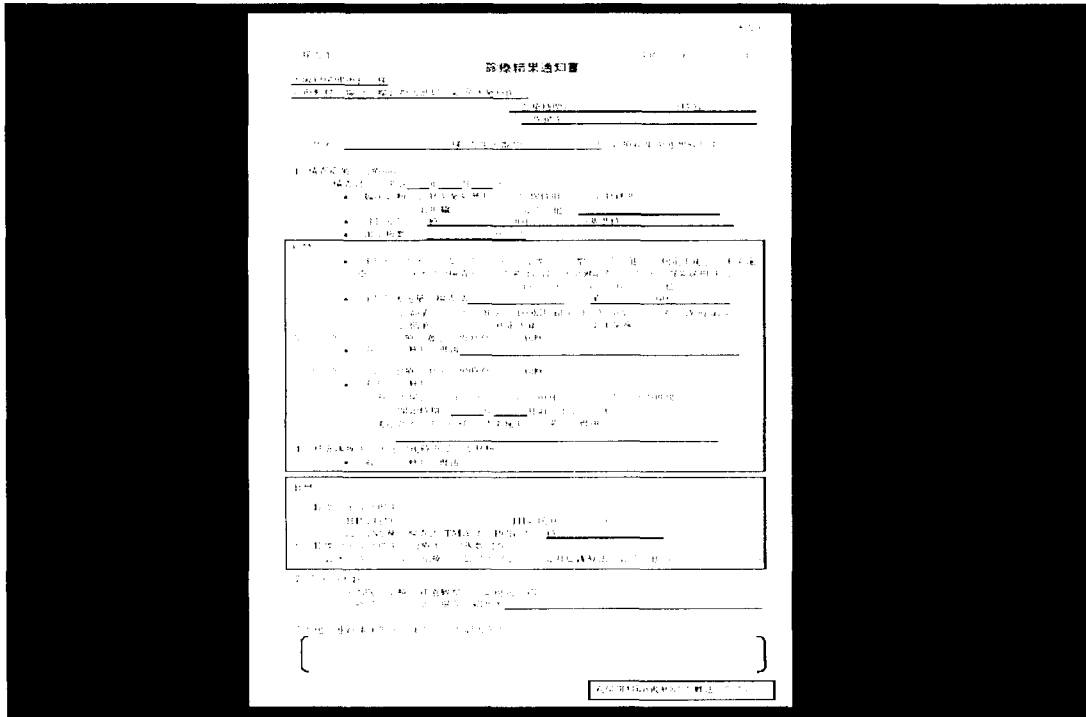
C型肝炎検診で発見されたキャリア数：大阪市を除く大阪府

年齢階級別HCV感染率 - 大阪市を除く大阪府(平成14-16年度)



大阪府肝炎フォローアップ事業(平成17年度)の概要





**肝炎フォローアップ事業で登録されたHCV感染者の検診時  
成績(全大阪府)**

<b>検診期間</b>	<b>平成14年8月～16年3月</b>
<b>登録者数(男/女)</b>	<b>905人 (376/529)</b>
<b>65歳以上の人(%)</b>	<b>573人(63%)</b>
<b>肝機能異常歴、肝疾患の 既往歴のある人</b>	<b>223人(25%)</b>
<b>ALTの分布☆(人)</b>	
<b>～35IU</b>	<b>547人 (68%)</b>
<b>36～69IU</b>	<b>153人 (19%)</b>
<b>70～99IU</b>	<b>49人 (6%)</b>
<b>100IU～</b>	<b>51人 (6%)</b>

☆不明を除く割合

肝炎フォローアップ事業で登録されたHCV感染者の精検情報

検診期間 平成14年8月～16年3月  
登録者数 905人

精検結果把握率(人) 47% (421人)

報告を寄せた医療機関数 272施設  
うち、府指定医療機関 90施設  
府指定医療機関から精検結果が報告された患者の割合\* 57% (238/421)

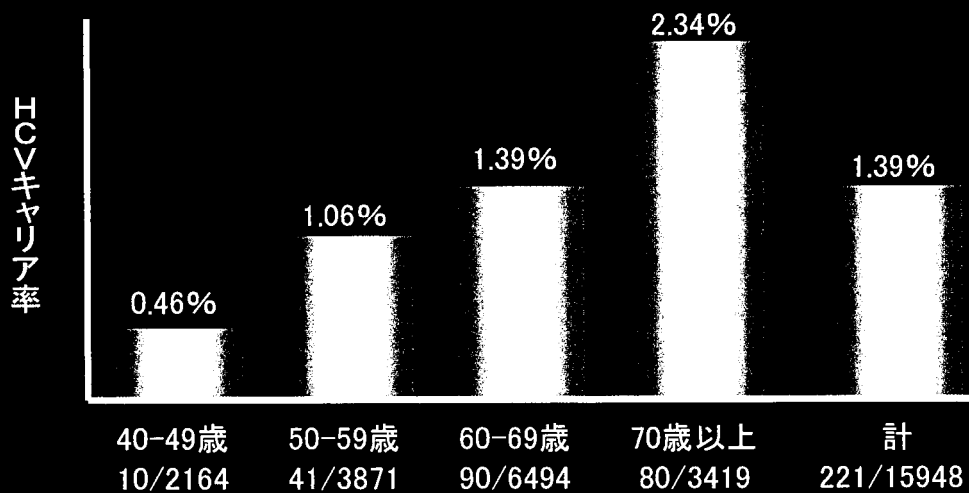
精検時臨床診断(人)

肝炎発生なし	46% (181人)
慢性肝炎	47% (188人)
肝硬変	4% (14人)
肝癌	0.5% (2人)
その他	2.5% (11人)

IFN適応あり(人) 22% (95人)

「IFN適応あり」の中で、「予定あり」の者の割合(人) 52% (49人)

平成14-16年度大阪府北部地域(池田市、箕面市、豊能町)でのHCV検診受診者における年齢別キャリア率



## 検診発見HCVキャリアで市立池田病院を受診した患者の臨床像と経過

対象:平成14,15,16年度大阪府池田・豊能地域の検診で陽性となり、市立池田病院を受診した43名

平均63歳(45-80歳)  
 男21人/女22人  
 ALT 36IU/L以上 51%(22人)  
 血小板 15万未満 30%(13人)  
 HCV serotype1 76%(26人)  
 HCV-RNA $\geq$ 100KIU 81%(35人)

7人  
(16%)

### IFN投与例

平均 52歳(40-64歳)  
 F1:3人/ F2:2人/ F3:2人  
 SVR 2人/non-SVR 3人/ 投与中2人

16人  
(37%)

### UDCAまたはglycyrrhizin投与例

平均 65歳(46-71歳)  
 平均ALT 79(16-276)

20人  
(47%)

### 経過観察例

平均 64歳(45-74歳)  
 平均ALT 25(10-39)

## まとめ

1. 大阪府下(大阪市を除く)の節目検診、節目外検診ともに、受診者におけるHCVキャリア率(発見率)が低下している。両検診での年間HCV発見数は1000人~1200人程度であり、平成18年度までを目途とした検診の枠組みだけで、府下の潜在HCVキャリア全てを医療につなげることは困難。事業の継続、基本健診未受診者への勧奨等の強化策が必要。
2. 大阪府北部地域での取り組みのように、検診で見出されたHCVキャリアを中核となる肝炎専門施設に精検段階から受診させることにより、検診事業の目的である肝癌予防の効率化を図りたい。